



西郷コスモスキップの
子どもたち



議会だより

NO.70
平成23年 7月15日

- ◎ 6月定例会
23年度補正予算・条例改正……………p2～p3
- ◎ 一般質問……………p4～p8
- ◎ 常任委員会視察研修……………p9
- ◎ 市民の声……………p10

むらやま「議会だより」は健全で開かれた議会を実現するために、
情報の開示を主目的とし、議員による編集を経て年4回発行しています。



食・酒・蔵まんぶく市場

平成23年第3回 6月定例会

一般会計補正予算

1億6千457万4千円追加

総額113億4千365万6千円

平成23年第3回定例会は、5月31日から6月13日までの14日間で開かれました。

上程された議案は、条例の一部改正が2件、震災関係の専決処分の承認が3件、一般会計・特別会計補正予算が2件、人事案件2件、が提案され、いずれも原案のとおり可決されました。補正予算の主な内訳は3・4月の地震による災害復旧事業費等で下表のとおりです。

農業委員会委員の議会推薦は齋藤眞知子さん（大倉）に決定しました。

また村山市土地開発公社、村山市余暇開発公社（クアハウス基点・道の駅むらやま）の経営状況が報告されました。

主な補正予算額

（単位：千円）

• 公共土木施設災害復旧事業費 （東沢公園～湯沢線路肩工事ほか）	13,254
• 真下慶治記念美術館管理運営費（図録印刷ほか）	1,037
• 災害対策費（塩電市等への職員派遣援助費）	802
• 特殊改良事業費（市道楯岡名取線歩道幅変更測量）	3,000
• 公園費（東沢公園内施設建物購入物件補償費）	5,123
• 商工振興費（中小企業振興資金貸付金ほか）	80,830
• 観光振興事業費（被災者対象市内温泉施設宿泊費助成金）	480
• 農業振興費（新規就農者機械設備等の助成ほか）	37,712
• がん検診推進事業費（大腸がん検診委託料ほか）	2,614
• 市有財産管理事業費（旧大高根中跡地測量ほか）	2,352
• 市民協働参画費（塩電市復興支援港祭り出演経費ほか）	800

議案

条例関係

▼村山市市税条例の一部を改正する条例について

(国民健康保険税の課税限度額、医療給付50万円を51万円、後期高齢者支援金13万円を14万円、介護納付金10万円を12万円に引き上げ及び東日本大震災の被災者に対する税負担の軽減措置を行う)

▼村山市下水道条例の一部を改正する条例について

(日本下水道協会山形県支部を山形県下水道協会に名称を改める)
(全会一致で可決)

発議意見書の提出

▼原発からの撤退を求め

る意見書

(賛成少数で否決)

▼原子力の平和利用及び電力供給の再構築を求める意見書

(賛成多数で可決)

国並びに関係省庁に提出

人事案件

▼固定資産評価委員の選任について

根岸力夫さん(楢岡)を全会一致で選任に同意

▼人権擁護委員候補者の

人となりました。

楢岡鶴ヶ町住宅団地

(楢岡鶴ヶ町タウン)は、

分譲6年に入り、内陸地域に重点を置き販売活動を実施しましたが、契約までには至りませんでした。36区画のうち35区画

推薦について

板垣重善さん(西郷)を全会一致で推薦に同意

▼農業委員会農業委員の推薦について

齋藤眞知子さん(大倉)全会一致で決定

報告

▼村山市土地開発公社及び財団法人村山市余暇開発公社(クアハウス)基点・道の駅むらやまに係る経営状況を報告

平成22年度土地開発公社事業報告

3団地、残り19区画

3箇所の住宅団地の残分譲地が21区画があります。景気の低迷や雇用環境の悪化で住宅購入意欲が冷え込み2区画の分譲実績となりました。

河島山ニュータウンは196区画のうち185区画が分譲済みです。未分譲区画数は11区画、住宅建築が完了し入居しているのが167区画で623人が住んでいます。若い世代の方々が

施設部を設けリニューアルに向け検討

平成22年度余暇開発公社事業報告

クアハウス基点、道の駅むらやま、レストハウス東沢は、継続し、市より3年間の指定管理を受

け事業をスタートしました。間近に迫った新法人への移行について、公益法人移行検討委員会を設



賑わう東沢バラ公園

置し、3月28日に最終報告書を提出、理事会、評議員会に報告しました。営業面では、公社全体で、「おもてなしの心」お客様の目線に立ったサービス「心のこもったお出迎え、お見送り」を徹底し、サービスの向上に努めました。またハード面では、市による「クアハウス基点、道の駅むらやま、施設設備基本方針」が示され、公社内において、施設部を設けリニューアルに向け検討を始めました。景気低迷が続く中、経営状況が厳しい中、東日本

大震災の影響により、予約の取り消しをはじめお客様が激減し、クアハウス基点、道の駅むらやまとも収入、利益額ともに前年度を大きく下回る結果となりました。

基点レクリエーションセンター受託事業では、収入、前年比3千721万4千円の減、欠損額2千567万6千円です。道の駅むらやまの利用状況は、前年比で2万4千385人の減収入は、1千999万9千円の減、当期利益金1千879万1千円です。

ここが聞きたい！ 一般質問 Q&A

本定例会の一般質問は
6月2日・3日に9人の議員が行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿を
そのまま掲載しています。



防災対策について
須藤和幸 議員

Q 今回の東日本大震災をどう受け止め、今後の防災対策に生かしていくのか。

A 今回の地震では、当初通電の見込みが分らなかったため、早急に対策本部を設置し、対応してきたところだ。そして、職員がああ寒さ、停電の中で日夜を通して良くと頑張ってくれたと思う。また、これまで市が協力要請を締結している建設業協会、生協、農協さん、そういう方々、皆さんから不足分を対応していただき良かったと思う。したがって市民の皆さんに大きな不安を与えないで対応することができたと思っている。

今後の課題としては、発電機不足の問題、備蓄としての毛布とか簡易トイレなどについても一度見直して、基準をつくらなければと思っている。

Q 防災行政無線の機能充実をどう図っていくのか。

A 防災行政無線は昭和55年に整備し、更新の時期に来ているので、平成25年度から整備する予定になっている。

Q 各自治公民館にも発電機を配備してはどうか。

A 各地区のまちづくり協議会の特色ある事業として、災害時に対応する備品の購入に特別交付金を大いに活用してほしい。



震災による道路の亀裂



小学校の統合と学童保育

布川 淳一 議員

Q 少子化によって小学校の統合は、避けられない問題だ。23年度に示された小学校の適正配置及び適正規模に関する方針案では、複式学級の解消を優先して、小規模な統合に終わっている。もっと将来を見据えた大

A 規模な統合が必要と考える。また、大久保小学校の現在地での改築は、交通アクセスや工事期間中の大型車による様々な問題がある。再考を求む。25年度から大倉小学校は、大久保小学校に統



たてやまキッズクラブのお友だち

現在地に改築する予定だ。将来的には、現在の子どもの減少率の動向や校舎の老朽化から考えると、中学校区での整備統廃合を視野に入れなければならないと推察される。

Q 近隣の市と比べて村山市は学童保育所の設置が非常に遅れている。周辺部にこそ学童保育所が必要と考える。未設置学区の解消を望む。

A 現在、福祉事務所で二丁調査を実施中。出来るだけ早く対応したい。

Q 小規模な小学校だと学童保育所の設置が困難だ。是非大胆な統合を押し進め、併せて学童保育所を設置し、安心して子育てが出来る体制をつくらないと都市部への人口の流出が止まらない。

A 統合については教育委員会の基本方針案を尊重する。



統合は地域の理解が大切

長南 誠 議員

Q ①大倉小学校の耐震化と、統合計画が並行し進んでいるため、問題を複雑にしているのではないか。教委として市全体の学校の規模、配置構想を持ち検討委員会の意見を聞くべきでないのか。②子ども人口増加対策を考え、学区再編も検討すべきでないのか。

A ①地域の理解を得る事が大切で、意見を聞き進める。それを基本に据え統廃合を進める。安心安全確保について保護者から早急な対策を求められており、各方面から検討している。②働く場所の確保が必要。市内四つの団地で92%売れている。入居者年令20〜30才が40%、県外、市外が60%であり住宅政策は重要である。現在行政区と学区が一致しており学区再編は考えていない。

Q 福島原発事故による電力不足が心配される。①太陽光等自然エネルギー発電の推奨は。②西部産廃処分場へ宮城県から搬入の魚の腐敗した

A ①今年は補助内容を良くし、事業所も利用できるようにした。今後より広がるよう努力する。今年は西郷児童センターに太陽光パネルを設置する。②5月31日まで258台、3千110トン搬入。沿線住民から苦情がある。市と県でいい、カラス、トンビ等鳥類対策の徹底した指導を行なう。



平成 25 年榎岡小へ合併予定の大倉小学校



学校跡地を活用した宅地開発 の考えは 佐藤敏彦 議員



開発が待たれる旧葉山中跡地

A ①パブリックコメントを行い市民の皆さんからの要望等取りま

めて、夏頃までに基本方針を策定する予定だ。その後、実施計画を示したい。②適正配置なるまでは、少人数学級、複式学級を理解して頂いて徐々に進めて行く。

Q 人口増加対策について、旧中学校跡地を活用した宅地開発の考えは。

A 地域的な歴史伝統文化、気候風土を含め

様々な要素があるが、一つの案として検討したい。また、地域おこし協力隊事業も行っており、若い方が定住するよう、各種事業を今後も進める。

Q 補助金の代わりに土地を無償で提供し、

本市に定住してもらう制度など考えられないか。

A 検討してみたい。

Q 環境行政について、山形県方式の節電の取り組み状況と本市の対応は。

A 市役所施設については、ものは、消費電力が多いものを再点検し実施し、一般家庭については、市報に「環境市民の広場」

のコーナーを設けて、毎月掲載して啓蒙する。

Q 教育行政について①今後の小学校の統合に向けての進め方、スケジュールは②適正配置について、地域の要望と調整は、どのように考えているか。



震災後の当市の対応について 長谷川 元 議員

Q 村山市西部最終処分場に入搬されるごみ

について、3月11日以降の入搬されたものの放射線調査はしているのか。

福島県のみならず、北関東等の隣県からも下水道汚泥及びその焼却灰から高濃度の放射線が測定されている。現在入搬されているごみが本当に安全か確認はしているのか。今後市として県・アシストへ放射能検査の要望をしていくべきと考えるかどうか。

A 福島県からのごみは入搬されていないから安全だ。その他の県外

から入搬されているので安全だ。放射線測定は現在まで行われていないし、今後もするつもりはない。

Q 福島だけでなく県内の入搬ごみ、下水道汚泥等も調査すべきで、

福島から入搬されていない



村山西部最終処分場内部

いから安全とは何故言えるのか。村山市内へのごみは本来いらぬもの。

今後一層の管理体制の強化及び要望をしていくべきだと考える。

Q 被災地への対応が早かった村山市だが、義援金の配分は市民の意

向が反映されるシステムになっていったか。市民避難民への対応も組織の整備が不十分だったと考える。今後の対応についてどのように考えるか。

A 確かに不備はあったようだ。今回のことをふまえて対応したい。



今こそ原発からの撤退を 中里 芳之 議員

Q 「安全神話」が崩れ、原発縮減・廃止を求める声が世論の半数を超えた。ドイツやスイスも全廃へ向かっている。原発技術は本質的に未完成で「死の灰」を完全に閉じ込めておく技術はない。世界有数の地震・津波国の日本での集中立地は特

に危険。①市民の「安全・安心」を思えば、原発からの撤退を国に求めているべきだ。②市民の健康を守り、風評被害を最小限にするため、放射線や放射性物質のきめ細かな観測・測定を。

A ①原発は必要ないと思っている。自然工



爆発後のチェルノブイリ原発4号炉

ネルギーの活用を進めていく。②確実な検査が一番。県と連携をとりながらやっていく。

Q 民間住宅と防火水槽の一層の耐震化促進を。

A 防火水槽は点検をしながら計画的に耐震化を進めている。

Q 小学校統合に絶対反対の立場ではないが、科学的・客観的に検証すれば、過小規模校の学校規模そのものに問題があるのではない。効率優先で競争主義的な教育や、教師の配置など十分な支援がなされていないことにこそ問題がある。経験に流されない、科学的・客観的な検証は不十分ではないか。

A ある程度の規模があった方がよいというのは、科学的かは別として経験則から生まれたもの。



施設待機者をゼロに 川田 律子 議員

Q 誰もが自分の年金で入れる施設を、と願っているが現状は施設探しに奔走している。また探しても料金が高く断念するケースも多くある。4月から「はやまホーム」が開所したが、待機者はどれ位解消したのか今後解消に向けて、市の施設作りの考え方は。

現在の介護保険制度では施設の充足に応じて保険料が増えるしくみになっている。国への制度改革にも声を上げるべきと考えるが。

A 施設待機者は実数で164名から160名と若干減少したが、施設が増えたことにより重複の待機者が196名から218名に増えている。

第4期保険料は3千円と35市町村で1番安くなっており市として努力をしている。これから第5期の計画に入るが、優

良事業者による旧村単位に地域密着型の小規模施設をとという考えを持っている。

Q 平成25年4月から、介護保険法の改定により軽度の要支援1・2と一部の自立の人を対象に「介護予防・日常生活

A 現在国会で審議されているようだが、県と連携をとりながら利用者の不利益にならないように考えていく。

支援総合事業」が始まり、これまでの保険給付か、選択することになるが市の考えは。



新設された「はやまホーム」



地域専門員は正規職員で 能登淳一 議員

Q 地域専門員の役割は
正規職員であること
により、行政マンとして

れると考えるが市長の所
見を問う。

の専門性、責任性、市役
所各部署との連携性が保
たれる。そのことこそ地
域づくりの活性化、安
心・安全な地域づくり、
的確な災害時対応がなさ
と考えている。地域づく

A これまでの成果に対
する認識は同様であ
る。今、地域のみなさん
と共に、まちづくり協議
会、公民館の将来像につ
いてさらに発展させよう
と考えている。地域づく



避難所に指定されている市民センター

りは人づくり、人材発掘
も重要な街づくりの課題
の一つ。今後は名称も含
めよりわかりやすくする。

Q 災害の少ない村山市
として、今後安定的
な部品供給基地として、
発展させなければならな
いと考えるがどうか。

A 技術力の高い村山市
の地場産業をより発
展させる為の努力をして
いる。雇用創造推進事業
等も活用し、山形大学工
学部との連携講座も充実
させている。

Q この度の大震災を教
訓として、災害時の
自主避難、通信体制、さ
らには県外からの避難者
の対応、ボランティアと
の関係等防災計画の総点
検が必要ではないか。

A 自主避難について、
明記すべきとの事で、
全体的な検証の中で検討
していきたい。



被災地の人を元気にする 取り組みは 鈴木健治 議員

Q 政府は、今回の東日
本大震災で被害を受
けた東京電力や東北電力
の電力供給に大口使用制
限を決め、計画停電を行
い、節電目標15%と打ち
出したが、村山市の計画
停電に対する今後の取り
組みと次の2点について
伺いたい。

①公共水道のポンプアッ
プの停電対策について
②市道アンダーパスや下
水道の排水ポンプアップ
対策は。

A 山形県が打ち出した
節電県民運動を市民
に理解を頂き、村山市も
節電の取り組みについて
協力を呼び掛けていく。
水道のポンプアップ対策
は高区水槽の水量で十分
賄えるので断水にはなら
ない。また、下水道排水
対策は発電機を設置し排
水に万全を期して行く。
市道アンダーパス対策は
停電の時間帯を通行止め

の措置を講じて行きたい。
Q 今回の東日本大震災
で被災された多くの
人に、村山市としてでき
る限りの支援を行い、被
災地で頑張っている人々
に元気づけられる企画と
してバラまつり、さくら
んぼ狩り、徳内まつりに
招待する考えは。

A バラまつりや山菜採
り、温泉でくつろい
でもらうツアーを企画し
宿泊費は市が負担する。
また、バラまつり招待券
500枚を送った。そして、
徳内まつりにも塩竈市民
を招待して行きたい。



東沢公園バラまつり

全国市議会議長会表彰

6月15日、東京都で開催された全国市議会議長会第87回定期総会において、本市議会より須藤和幸議員と茨木久彌議員が表彰されました。

◇議員在職20年

須藤 和幸 議員



◇議員在職15年

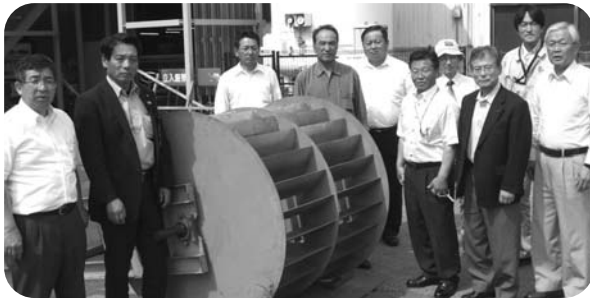
茨木 久彌 議員



視察・研修



文教厚生常任委員会視察（5月17日）
耐震改修後の楯岡小学校小体育館



鶴岡高専小水力発電視察（鶴岡市 6月17日）



産業建設常任委員会管内視察（6月21日）
駅西開発予定地

共立衛生処理組合議会

共立衛生処理組合議会臨時会が5月27日に開かれた。

平成22年度補正予算の繰越明許を設定する専決処分を承認、施設内に脱水機などを設置し、し尿処理を行わず、下水道に汚水を投入する処理施設改造工事請負契約の締結について、原案のとおり可決した。また欠員となっている監査委員に大場勇人氏（河北町議会）を選任した。

議会ホームページをご覧ください

市議会の活動をわかりやすくお伝えするためにホームページを開設しています。

ホームページでは、市議会の仕組みや議員名簿、定例会の日程及び市議会だよりなどを掲載しています。

また会議録もご覧いただくことができます。「会議録検索システム」により、会議録に含まれる「言葉」や「発言者」を入力することで、質問内容や答弁内容を簡単に検索できるようになりました。ぜひご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.city.murayama.lg.jp/0530gikaizimukyoku/index.html>



村山市議会

会議録検索システム

Murayama City Assembly Minutes Search System

+ 文字

- 使い方

検索システムトップ

村山市議会 HPへ

村山市役所 HPへ

会議録の検索・閲覧をすることができます。

かんたん検索 →

かんたん検索

簡単検索開始 [A]

発言集作成

会議録の検索

【様々な要素】から会議録を検索できます

会議録の閲覧

【全ての会議録】から選んで閲覧する事ができます。



市民の声



わんぱく富本塾
塾長 石井 勝さん（湯野沢）

富本地区では、小学生の放課後子ども教室の一環として「わんぱく富本塾」を毎月一回開催している。

地域全体で子どもたちを健全に育成していくことが事業の主たる目的であるが、地域の様々な団体をまきこみ実行委員会を組織し、出来るだけ地元の方に講師や安全管理委員をお願いしている。子どもたちに「こんな体

験をして欲しい」「こんな事を学んで欲しい」などの思いを各団体で話し合いをすることで地域の活性化につながっている。子どものための事業でありながら、実は地域の大人たちが夢中になり楽しんでいる姿は地域興しそのものではなからうか。

楽しい教室ばかりではなく「地域を知る」こともねらいのひとつに掲げ、伝統的行事や、四季折々の地域の良さを体感できる学びの事業も取り入れるよう心がけている。富本地区に住む人々が「郷土を愛し、地域全体で子ども育てる」を合い言葉に、未来の宝ものの育成に努める。



うどん打ち体験



火おこし体験



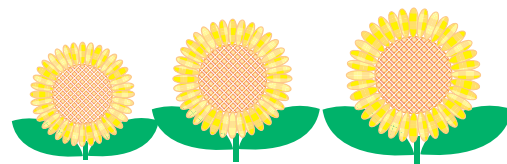
野外でのお菓子づくり

議会の傍聴へお気軽に おいでください

議会の傍聴することは、市政の運営を知り、皆さんから選ばれた議員の活動状況などを理解する一つの方法です。

議会は一般に公開され、どなたでも傍聴することができますので、お気軽においで下さい。

6月議会の傍聴者は、7名でした。



村山市議会基本条例の制定について

特別委員長 茨木 久彌

本市議会は、真の地方分権と自治の時代にふさわしい議会及び議員活動の充実と議会運営における規範的事項及び議員に係る基本的事項を定めることにより市民の負託にこたえ、市民の福祉の向上及び公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的に制定を目指しております。

特別委員会を設置以来、定期的に協議会を開催し議論を重ねてきた結果、ようやく素案の作成に至り、このたびその素案をもとに、7月4日から7日まで市内各地区において意見交換会を開催し、皆様方より素直なご意見並びに叱咤激励を頂いたところです。

今後は、皆様から頂いた貴重なご意見などを充分に参考にし、更に検討して参る所存です。

この条例は、9月議会で議決し、11月1日より施行の予定です。ご協力ありがとうございました。

議会広報特別委員会

委員長	秋葉 新一
副委員長	長南 誠
委員	茨木 久彌
委員	鈴木 健治
委員	川田 律子
委員	佐藤 敏彦

あとがき

6月の村山市は日本一糖度があり甘いさくらんぼ、特産品のじゅんさいや山菜そして「かおり風景100選」にも選ばれた東沢公園のバラの花が咲き、1年の中で最もいい季節といえます。今だからこそ1人でも多くの人から村山に来てもらい、癒しに繋がればと思います。

（秋葉新一）

豆ちしき

管内視察とは

市議会の3常任委員会が、所管する各々の施設や道路、災害現場等、管内の視察を行い、現状の把握につとめています。